

彼方小だより

家庭数配布

富田林市立彼方小学校

令和3年9月号

「2学期のスタートです！」

校長 藤井 貞彦

長かった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。

今年の夏休みもコロナ禍による緊急事態宣言、季節外れの長雨・集中豪雨（被災された方々に心よりお見舞い申し上げます）等、いろいろなことが起こりました。幸いにもこの地域では大きな被害が出ることもなく、無事に2学期を迎えられたことを、大変うれしく思います。しかし、コロナウィルスの勢いは衰えることを知らず、学校生活にも暗い影を落としています。

今のところ、自然災害・事故・コロナ感染症等、目立った被害は出ていませんが、「いつ」・「どこで」・「どんな」ことが起こるかわかりません。日頃の備えと様々な事態を想定した訓練をしっかりと行うことが大切です。これまでに土砂災害を想定した避難訓練、長期の臨時休校に備えたタブレットの持ち帰り等を実施しました。今後もできる範囲で様々な安全教育の取り組みを進め、一人ひとりの意識を高めていきたいと思えます。



さて、この夏休みですが、昨年に引き続き旅行や友人との会食、同窓会等もできず、仕方なく一人で「お城巡り」に出かけました。お城の建物も魅力ですが、私は「石垣」を見るのが好きです。石垣の積み方や石の加工の仕方で作られた時代がだいたいわかります。また、重機のない時代に大きな石を積み、石垣を組み上げた職人の知恵と工夫そして努力が想像できます。現在の大阪城（徳川家によって江戸時代に作られた）で見られる、きれいに加工された石を隙間なく積んだ巨大な石垣も迫力満点で素晴らしいのですが、個人的には自然石を組み合わせた初期の石垣が好きです。様々な大きさや形の自然石を積み、隙間には小さな間詰め石を入れて組み上げていきます。見た目は崩れやすそうですが、最も頑丈なのだそうです。下の方を支える大きな石、隙間を埋める小さな石等、大きさや形、色も違う様々な石が組み合わせあって城の土台を担っています。

学校も同じだなと思えます。様々な個性を持った子どもたちが集まり、お互い支え合って集団生活をします。教師は一人ひとりの個性を大切に、丁寧に学級・学年集団を作り上げていきます。この集団が学校という「お城」をしっかり支えていく土台となるのです。



この2学期は気候も良く、本来なら学習に最も適した学期であると同時に、修学旅行・運動会をはじめとする多くの学校行事が予定されています。しかし、現状では変更せざるを得ないことも多くあります。

子どもたちが安心して学校生活を送れることを第一に考え、府や市の方針に則って、学習・行事ともに安全に留意して丁寧に進めていきたいと考えています。今学期も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い致します。